

あ と が き

日頃から、本校の教育活動に対しまして御指導と御支援をいただいておりますことに、心からお礼を申し上げます。

さて、Society5.0時代を生きる全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現するためには、学校現場におけるICTの積極的な活用が不可欠との観点から、GIGAスクール構想が国の主導で推進されました。本年度は「GIGAスクール元年」と称され、一人一台端末、高速大容量のネットワーク環境下での学びが本格的にスタートしました。

このGIGAスクール元年の学びを進める際には、ICT環境の整備は手段であり目的ではないということを共通理解した上で、子供たちが変化を前向きに受け止め、豊かな創造性を備え、持続可能な社会の創り手として、予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を一層確実に育成していくことが求められています。

本校においては、学校教育目標である「主体的人間の形成」を具現化するため、一昨年度から、研究主題を「探究する子供を育てる教育活動の創造」とし、問題解決的な学習を進めていく中で、学ぶ必要感や学びに向かう意欲を引き出し、より一層知りたい、考えたいという推進力のある学びを実現する、「探究」を軸とした研究を推進しております。その際の指導方法の1つとして、低学年ではiPadを、中・高学年ではChromebookを、必要な場面で必要に応じて活用しています。

各教科・領域の特性を踏まえた授業づくりや評価方法の工夫、教育課程の改善など、まだまだ不十分な点があるかと思いますが、今後は、更に研究を整理し、分かりやすく発信してまいりたいと考えております。

また、本年度は、教育研究大会をオンラインで4回に分けて実施するとともに、研究紀要をWebページからのダウンロードに一本化することで、各学校や先生方一人一人の勤務実態に応じ、距離と時間を超えて本校の研究成果を活用していただけるよう工夫しました。

今後も、教育研究校、教育実習校、教育実践校としての果たすべき使命と役割を自覚し、「附属小学校の研究や実践が参考になった。」と多くの方に言っていただくことができるよう、研究の推進と実践に努めて参りますので、御支援と御協力、御批正と御指導をよろしくお願い申し上げます。

終わりに、研究の推進に当たりましては、北海道教育庁上川教育局並びに旭川市教育委員会をはじめ、関係各位に御指導と御助言をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

副校長 齊 藤 誠